

元氣だぞじよしだ 8

広報 ふじよしだ No.871 Genki da Fujiyoshida

AUGUST 2023

Pickup

特集

困難を乗り越えた明るい未来へ
富士吉田市防災の日

表紙写真：富士山開山前夜祭 お道開き



世界一誇れるまち 富士吉田

01

感染予防支援

新型コロナウイルスのパンデミックは、世界中で大きな影響を与えました。我が国は戦後最大というべき危機に直面し、国際観光都市である本市にはその影響は大きく、生活環境は一変してしまいました。

未知の感染症への恐れや家計の影響など、出口の見えない大きな不安に包まれた中で、市民の皆さんの不安な気持ちを少しずつ払拭できるよう、富士吉田市ではさまざまな施策をしてきました。

- ① 感染症対策用品の配布
不織布マスクを全世帯へ20枚配布
- ② 吉田のまちのテイクアウト図鑑
- ③ 市立病院への医療機器、救急車の購入
- ④ 市ワクチン接種センター開設



02

関連支援

- ① コロナ撲滅支援金 1人1万円
- ② 物価高騰生活支援金 1人1万円
- ③ 七福来券 第1、2、3弾
1人1万円の商品券
- ④ ふじよしだ若者エール便第1、2、3、4弾
- ⑤ 赤ちゃん子育てエール給付金

困難を乗り越えた 明るい未来へ。



03

事業者など支援

- ① みんなのエール食券
- ② 利子補給金の全額補助
- ③ キャッシュレス決済サービスポイント還元による経済活性化対策事業
第1弾最大10,000ポイント、第2弾最大5,000ポイント
- ④ 家賃補助
- ⑤ 休業等協力事業者一時支援金
- ⑥ 新しい生活様式推進機器購入等支援金
- ⑦ 小口支援融資制度の特別措置

今年5月からは、あらゆる規制は緩和されているものの、長期にわたる新型コロナウイルスの影響やロシアによるウクライナ侵攻などが重なり、物価高騰はいまだに続いています。新型コロナウイルスによる大打撃からいち早くリスタートできるように、あらゆる施策を進めていきます。



生活

- ⑥ 新生児1人10万円
- ⑥ 市税、水道料、市営住宅家賃の支払猶予
- ⑦ 水道料金・下水道使用料金の基本料金分の減額



9/3
富士吉田市防災の日

9月最初の日曜日は子どもから大人までみんなが防災を考え、行動する



ふじよしだし ぼうさいのひ

富士吉田市

防災の日

今年は… **9月3日** 日

本年度は関東大震災から100年、桜島の大正噴火から110年と節目の年になります。災害時に被害を最小限にするためには日頃からの備えがかかせません。市では地域の防災力向上のため、子どもから大人まで防災を考え、行動できる日になるよう訓練や各種イベントを実施します。

今年の富士吉田市防災の日は…

- 1 富士吉田市総合防災訓練～富士山噴火を想定した避難訓練～
- 2 実験・カルタで学ぼう！防災を！！
- 3 災害関係車両・ブース出展
- 4 図書館で防災！！～防災クイズラリー ほか
- 5 防災専門家×市長 パネルディスカッション ※要申込
- 6 自衛隊による災害時炊き出し食試食体験

■場 所 市民会館(訓練以外)

■駐車場 下二小グラウンド

※市民会館の駐車場は利用できません



時間・内容が変更になることがあります。

最新情報はホームページを確認してください。



問合せ ■安全対策課 ☎内線235
富士山火山対策室 ☎内線251



9/3
富士吉田市防災の日

1

ふじよしだしそうごうぼうさいくんれん
富士吉田市総合防災訓練
～富士山噴火を想定した避難訓練～

■時間 午前8時30分～11時30分

■場所 指定避難所 ほか

訓練内容(予定)

- ① 徒歩避難訓練
- ② 災害対策本部訓練、避難所開設・運営訓練
- ③ 市立看護専門学校学生 防災発表 ほか

※詳しくは、自主防災会などを通じてお知らせします



じっけん まな ぼうさい
2 実験・カルタで学ぼう！防災を！！

実験で溶岩流を知ろう！・火山灰をさわってみよう！！

■時間 午後1時～1時30分

■場所 市民会館 会議室 ■対象 小学4年生以上

■内容 立体模型を使った溶岩流実験、火山灰に触れる体験
※ 30分間の説明付実験

■定員 先着40人 ※申込不要

■実施機関 山梨県富士山科学研究所



富士山火山カルタで噴火の防災を学ぼう！！

■時間 午後1時45分～2時15分

■場所 市民会館 市民ギャラリー

■内容 富士山火山カルタゲーム

■定員 先着40人 ※申込不要

■実施機関 かえる舎

3 さいがいかんけいしゃりょう しゅってん 災害関係車両・ブース出展

■時間 午前10時～午後4時 ■場所 市民会館 駐車場



参加
 機関
 順不同

- 【車両・ブース】 ◆国土交通省中部地方整備局 ◆富士吉田市
 【車 両】 ◆富士五湖消防本部(富士吉田消防署) ◆陸上自衛隊北富士駐屯地
 ◆山梨県警察本部 ◆富士吉田警察署 ◆山梨県立防災安全センター
 【ブ ー ス】 ◆甲府地方气象台 ◆自衛隊山梨地方協力本部 ◆富士吉田防災士会
 ◆山梨県富士山科学研究所

4 としよかん ぼうさい 図書館で防災!! ~防災クイズラリー ほか

防災クイズラリー

- 時間 午前10時～午後4時 ■場所 市立図書館 ■受付 図書館カウンター
 ■内容 富士吉田市防災の日の各会場にちりばめられた防災クイズなどに答え、防災力UP!!
 ■対象 小学生以下 ※全問正解した方には、プレゼントが…

ファンキー姉妹と防災を学ぼう!

- 時間 午後3時～3時30分
 ■場所 市民会館 1階ロビー ■対象 小学生以下

防災図書特別展示

- 期間 9月1日(金)～28日(木) ■場所 市立図書館
 子どもから大人まで防災に関するさまざまな本を特別展示します。



9/3

富士吉田市防災の日

5 ぼうさいせんもんか しちょう 防災専門家 × 市長 パネルディスカッション

『富士山噴火を知る』

～ 住民として児童・生徒としてどう備えるか～

要申込

今年の3月、富士山火山避難基本計画が改定され、避難方法などが大きく変わりました。計画改定の中で中心的な役割を担っていた専門家の先生方と堀内市長による富士山噴火を知り、住民として、未来を担っていく児童・生徒として備えにつなげていくためのパネルディスカッションです。

- 時間 午後2時～3時30分
- 開場 午後1時30分
- 場所 市民会館 ふじさんホール



コーディネーター

藤井 敏嗣 先生

東京大学名誉教授
山梨県富士山科学研究所 所長



パネリスト

池谷 浩 先生

(一財) 砂防・地すべり技術
センター 研究顧問



パネリスト

吉本 充宏 先生

山梨県富士山科学研究所
研究管理幹



パネリスト

堀内 茂 市長

富士山火山防災協議会 会長

◇申込方法 電話、FAX、メールで①氏名②住所③電話番号を連絡してください。

◇申込み・問合せ 電話 ■ 安全対策課 内線259

FAX ■ 22-1030 メール ■ anzen@city.fujiyoshida.lg.jp

※複数名での参加の場合、参加者全員分の申し込みが必要です

※入場の際には、申込者に後日配布する入場券をお持ちください



6 じえいたい さいがいじただ しょく 自衛隊による災害時炊き出し食 ししょくたいけん 試食体験

- 時間 午前11時～午後2時
- 場所 市民会館 駐車場
- メニュー カレーライス ※限定200食 なくなり次第終了

富士山火山避難基本計画 改定

～逃げ遅れゼロを目指し、安全に避難できる可能性を最大化～

問合せ ■ 富士山火山対策室 ☎内線251

監修 ■ 山梨県富士山科学研究所 研究管理幹 吉本 充宏 氏

令和3年3月に富士山ハザードマップが改定され、溶岩流などの噴火現象がこれまでよりも短い時間で市街地に到達し、より遠くまで影響が及ぶ可能性などが示されました。そのため、火山や防災の専門家、国、県などによる富士山火山広域避難計画検討委員会で、避難について検討が行われ、今年の3月に『富士山火山避難基本計画』が発表されました。

山梨県ホームページ



富士山
ハザードマップ



富士山火山
避難基本計画

富士山火山避難基本計画とは…!?

市、県、関係機関などに共通する、避難に関する基本的なことを定めた指針となる計画

富士山が噴火すると影響は広範囲に及ぶため、関係団体がそれぞれ個別に対応すると、避難などに大きな混乱が起きてしまいます。そのため、富士山火山避難基本計画では富士山周辺地域の市町村、山梨県、神奈川県、静岡県、関係機関などに共通する、避難に関する基本的なことを定めています。

今後は各市町村や各県が富士山火山避難基本計画を基に、各地域の特性などを踏まえながら、それぞれの避難計画(地域防災計画)を策定していきます。

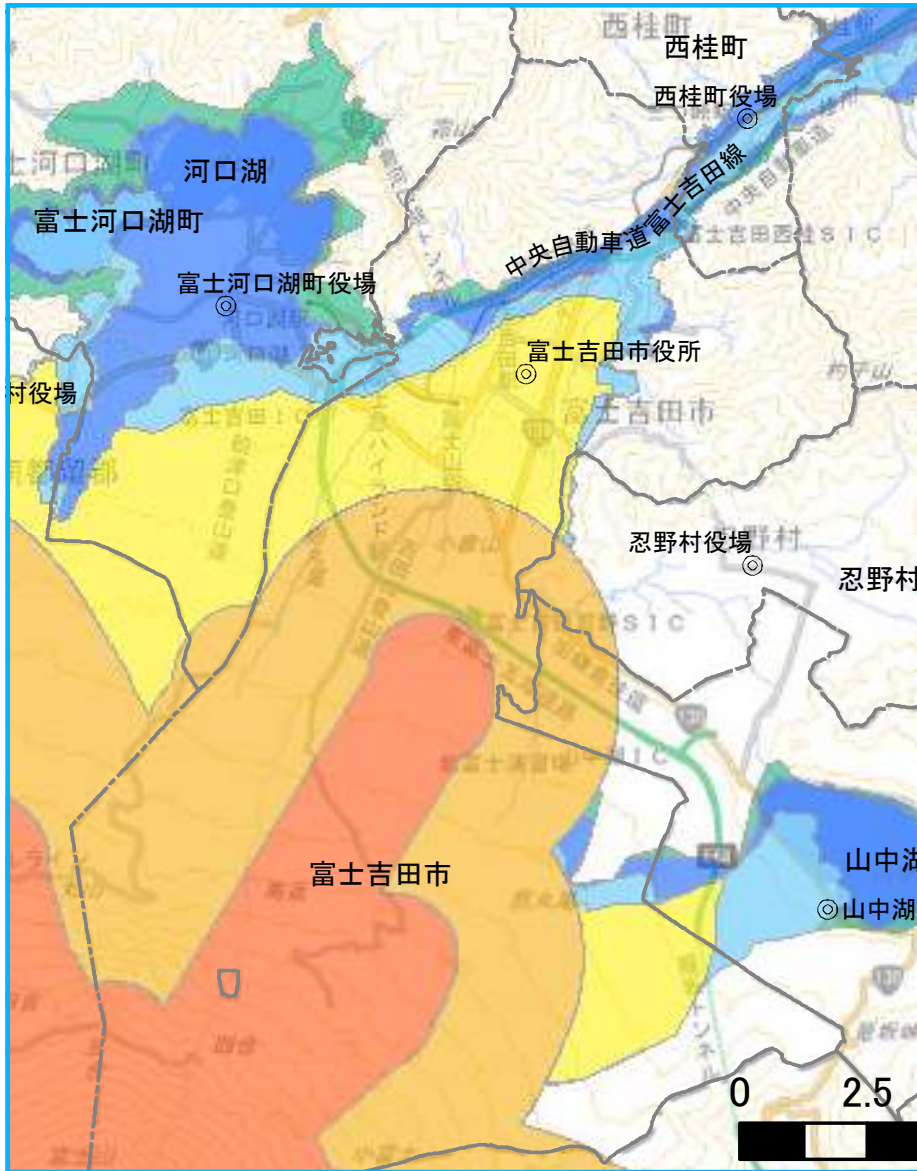
火山災害の不確実性を踏まえた計画—命を守る避難を最優先、暮らしを守る避難にも配慮

富士山は観測機器が充実しているため、前兆現象を観測できる可能性が高いですが、前兆現象から噴火までにどれだけの時間があるかまでは分かりません。すぐ噴火する場合もあれば、数カ月後になる可能性もあります。場合によっては最終的に噴火しないこともありえます。さらに、富士山ではどの場所から噴火するのか事前に特定することも困難といわれています。

このようにいつ、どこから噴火するか分からないなどの不確実性がある中で、命を守ることを最優先にしながら、皆さんの暮らしを守ることに配慮し、計画が策定されました。



避難時期～避難対象エリアが変わりました



市では避難対象エリアを基に、避難が必要な地域へ避難指示を出していきます。

色塗りされているエリアの全てで避難が必要になるわけではありません。市からの情報に注意し、避難してください。



富士山の噴火警戒レベル
(気象庁HP・PDF)

凡例

- 第1次避難対象エリア
- 第2次避難対象エリア
- 第3次避難対象エリア
- 第4次避難対象エリア
- 第5次避難対象エリア
- 第6次避難対象エリア
- ◎ 役所・役場

出典：国土地理院タイル

新しい避難対象エリアと避難指示の時期

噴火警戒レベルが引き上げられないまま、噴火した場合、「噴火前」の欄に該当する方は、直ちに避難する。

避難対象エリア	エリアの説明	避難指示の時期	
		噴火前	噴火後
第1次避難対象エリア	想定火口範囲	噴火警戒レベル3 (一般住民、要支援者とも)	—
第2次避難対象エリア	火砕流等、大きな噴石、融雪型火山泥流 (ハザードマップ中「事前の避難が必要な区域」)到達範囲	噴火警戒レベル4 (一般住民、要支援者とも)	—
第3次避難対象エリア	溶岩流(3時間以内)到達範囲	噴火警戒レベル4 (要支援者)	噴火直後に必要な地域 (一般住民)
第4次避難対象エリア	溶岩流(3～24時間)到達範囲	—	噴火後、溶岩流が流れてくる ことが予測される地域
第5次避難対象エリア	溶岩流(24時間～7日間)到達範囲		
第6次避難対象エリア	溶岩流(7日間～最大57日間)到達範囲		

避難方法 ～ 一般の方は原則徒歩で避難へ!!

溶岩流からの避難はこれまで車による避難とされてきましたが、皆さんが安全に避難するため、一般住民は原則徒歩での避難が示されました。徒歩避難とは、渋滞を抑制するため自家用車を使用しない避難(徒歩、自転車など)のことです。

徒歩避難以外の例

歩くことが困難な高齢者や障害者など避難に支援が必要な方の避難



01 まずは最短距離で安全な場所へ避難

富士山が噴火した場合、一度の噴火で富士山全域に溶岩流が流れることはなく、噴火した場所により流れる地域が異なります。そのため溶岩流が流れる方向から直角方向(右の図の「避難方向」)に避難し、近くの安全な場所へ行けば、身の安全を守ることができます。



02 安全を確保後、指定避難所などへ移動



大きな噴石や火砕流などの到達範囲にいる方は噴火前に避難!!

大きな噴石や火砕流、積雪期の融雪型火山泥流は現象のスピードが速いため、噴火してからでは避難が間に合いません。大きな噴石や火砕流等は到達範囲にいる方(第1次・第2次避難対象エリア)、融雪型火山泥流はハザードマップ中の「事前の避難が必要な区域」にいる方は噴火前に避難することが必要です。

ハザードマップ 山梨県HP (PDF)



大きな噴石



火砕流等



融雪型火山泥流



大きな噴石可能性マップ



火砕流等可能性マップ

広域避難が必要になった場合～避難先の見直し

これまで市町村外への避難が必要になった場合には、噴火現象の影響がない地域まで避難することになっていましたが、溶岩流からの避難は火口位置を特定した後、流れてくる範囲から離れることで安全が確保できます。

住民の皆さんの負担を軽減し、暮らしへの配慮もする中で、広域避難時にはまず近隣の市町村へ避難することになりました。



避難先の考え方

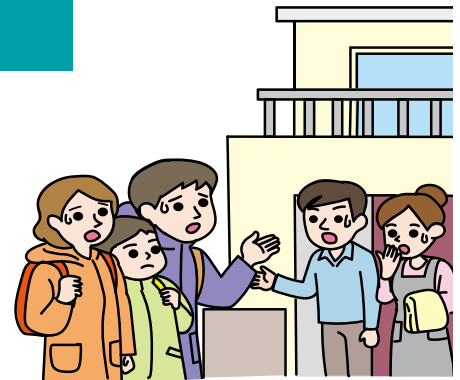
- 1 まずは市内の指定避難所や近くの避難場所など
↓ 噴火の規模や状況など必要に応じて
- 2 近隣市町村の避難所など
↓ さらに、噴火現象が拡大した場合など
- 3 県内、県外の避難所など

※市内の指定避難所からの移動は、行政が手配するバスなどによることになっています

自主的な分散避難の検討

自主的な分散避難とは、市などからの避難指示が出る前に、親戚や友人宅など自身が決めた場所へ避難することです。計画では避難に支援が必要な方の避難が始まる前の噴火警戒レベル1～3までの間に実施することとされ、各自自治体が呼びかけを行っていくことになっています。

避難に不安がある方などは、ぜひ『自主的な分散避難』を検討してください。



なぜ？ 徒歩避難!? — みんなが助かる、みんなで助ける避難へ —

渋滞により避難が間に合わない可能性

皆さんが一斉に車で避難すると、深刻な渋滞が発生する恐れがあります。富士山火山広域避難計画検討委員会で行ったシミュレーションでも避難が間に合わない可能性があることが示されています。



火山灰などにより道路が使えなくなってしまうことも

火山灰が道路に降り積もると、車の視界が悪くなり、路面も滑りやすくなります。一部の車がスタックし立ち往生してしまうと、その道路が使えなくなってしまうこともあります。



逃げ遅れ「ゼロ」のため、みんなが助かる避難へ

避難者には、入院患者や障害者の方など徒歩や自力での避難が困難な方、長時間の移動が命の危機につながる方もいます。さらに噴火した際には、さまざまな応援部隊の受け入れも必要不可欠ですが、進入路である道路が使えなくなってしまうと、駆け付けることができなくなってしまいます。限られた道路を使用できなくなってしまうことは、避けなければなりません。

徒歩避難で安全確保

溶岩流の速度は、人が歩く程度のスピードといわれています。溶岩流の流れる方向から直交方向へ、流れてこない安全な場所まで避難できれば、身の安全を確保することができます。検討委員会のシミュレーションで、車では避難が間に合わないときでも、徒歩では危険なエリアから避難できる結果も示されています。

富士山火山避難基本計画ではそのほかにも、降灰、学校・児童関連施設の避難対策、観光客などについても記載されています。



NHKのど自慢 出場者・観覧者を募集します！

富士山世界文化遺産登録10周年を記念して本市とNHK甲府放送局では、「NHKのど自慢」を開催します。

この番組は、「あなたの街の、みんなのステージ。」をテーマに地域の皆さんの歌声を全国にお届けします。皆さんの参加をお待ちしています！

日時

10月22日(日)

開場：午前11時 開演：午前11時50分
予選会■10月21日(土) 開会：正午
結果発表：午後5時30分ごろ

場所

ふじさんホール

出演

予選を通過した20組
ゲスト■サンプラザ中野くん、長山洋子
司会■廣瀬智美アナウンサー

放送

総合・ラジオ第1・FM・国際放送
10月22日(日) 午後0時15分～1時



サンプラザ中野くん



長山 洋子

出場申込み 1人(組)1件まで

郵送か専用申し込みフォームで申し込みしてください。応募者の中から200組程度を上限に選出し、選出された方には予選会の案内を、落選の方には落選通知はがきを9月26日(火)ごろに発送します。

▶ **郵送の場合**：必要事項を記入し、はがきで郵送してください。

- (1)郵便番号、(2)住所、(3)名前(ふりがな)、(4)年齢、(5)性別、(6)電話番号、
(7)職業 ※中学生・高校生・大学生は学年、部活動なども記入、(8)歌う曲目とその歌手名、(9)選曲理由
宛先■〒400-8552 山梨県甲府市丸の内1-1-20 「NHKのど自慢」出場係
締切■9月7日(木) 必着

▶ 注意事項

- ・中学生以上の方で、原則としてアマチュアの方が対象です。(中学生は予選会・本選どちらも保護者の同伴が必要です。保護者の名前と電話番号も入力、記入してください)
- ・グループで申し込みの場合は、全員の名前と年齢、性別、職業を明記のうえ、代表者が申し込みしてください。(人数は4人が上限)
- ・応募後の曲目、出場者の変更はできません。
- ・予選会、本選ともにカラオケで歌唱していただきます。キーの変更はできず、カラオケ機の原因キーになります。
- ・入力、記入内容に不備がある場合、無効になります。
- ・応募で入力、記入していただいた個人情報は番組の作成や選出結果の連絡に使用します。

観覧申込み 専用申し込みフォームから申し込みしてください。

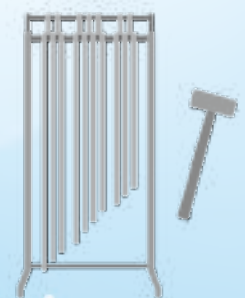
出場専用申し込み
フォームはこちら

締切 9月7日(木)
午後11時59分



観覧専用申し込み
フォームはこちら

締切 9月14日(木)
午後11時59分



問合せ■ 出場：NHK甲府放送局 ☎055-255-2148
観覧：生涯学習課 ☎内線523

防衛省の補助金や 交付金でさまざまな 事業を実施しています



区分	事業内容	
補助金による事業	道路	横町熊穴線外2路線整備事業(用地買収、物件補償、改良工事、舗装工事)
	公園	(仮称)富士の杜・巡礼の郷公園整備事業(公園整備工事3工区)
	水道	水道設置助成事業 ・鐘山配水区新屋第二配水場工事(場内整備、配水池築造、機械設備、場内配管、電気設備、管理棟) ・鐘山配水区新屋第二配水場非常用発電機設置工事 ・鐘山配水区配水管布設工事(商業高校通り線、河大杉線、河大杉支線、明見東通り線1工区、明見東通り線2工区、山口線)
	防災	有線ラジオ放送施設等設置助成事業
	コミュニティ供用施設	コミュニティセンター等整備改修事業 (ときわ台会館建設工事、上暮地コミュニティセンター改修工事)
	令和4年度補助金総額	738,138千円
交付金による事業	交通施設	舗装補修工事整備事業(東裏1号線、東裏2号線) 定置式凍結防止剤散布装置整備事業
	環境衛生施設	西吉田配水区配水管工事整備事業(その1、その2)
	医療施設	富士吉田市立病院内 医療機器購入(X線撮影装置BENEO ex システム)
	消防に関する施設	指定避難所用移動式蓄電池システム整備事業
	医療に関する事業	がん検診事業(ソフト事業)
	福祉に関する事業	特別支援教育支援員配置事業(ソフト事業)
	令和4年度交付金総額	254,265千円



コミュニティセンター等
整備改修事業
ときわ台会館



水道設置助成事業
新屋第二配水場



コミュニティセンター等
整備改修事業
上暮地コミュニティセンター



指定避難所用移動式
蓄電池システム整備事業

問合せ ■ 演習場対策室 ☎内線382

知ッていますか？ ヘルプカードを

ヘルプカードって何？

「ちょっと手助けが必要な方」と「ちょっと手助けしたい方」を結ぶカードです。

障害や病気のある方には、自分から「困っている」ことをなかなか伝えられない方がいます。

外見では障害があることが分かりにくい方やちょっとした配慮が必要な時に自分から言い出せない方もいます。

ヘルプカードは災害や日常生活の中で困ったとき、自分の障害などを説明し、支援や配慮を求めるためのカードです。

ヘルプカードを利用してください

対象 ■ 市内在住の身体・知的・精神・発達障害をお持ちの方
※手帳の有無は問いません

配布場所 ■ 福祉課 障害担当

配布時間 ■ 月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
(土・日曜日、祝日を除く)

こんなとき、皆さんの手助けが必要です

● 何か困っているような方を見掛けたら

「何かお手伝いすることはありますか？」と声を掛けてください。内容に沿った支援をしてください。

● パニックや発作などを起こしている方を見掛けたら

短い言葉で声を掛けてください。「ヘルプカード」には、どうしてほしいかなどが記載されています。周りの方と協力して、対応してください。

● 安全な場所に避難しなければならぬ時に、危険を察知していない方や動けない方がいたら

ゆっくり具体的に状況を伝えてください。緊急連絡先の記載がある場合には連絡してください。

● 避難所で過ごすとき、障害のある方が困っていたら

「ヘルプカード」を持っているか確認し、内容に沿った支援・配慮をってください。



ヘルプカード
あなたの支援が必要です。

私の情報

記入年月日 年 月 日

住所
氏名
生年月日 年 月 日

性別 男 ・ 女

工務係 昼 夜(トニー)

市 町
山形県北町市

障害名・病名

かかりつけ病院

連絡先

電話番号

飲んでいる薬

**あなたの
手助けが必要です！**
カードを開いて見てください！

【発行】山形県富士吉田町
福祉課障害担当
Web 0555-22-1111
FAX 781-153

知ってほしいこと	配慮してほしいこと	自由記載	緊急連絡先
<input type="checkbox"/> L1	<input type="checkbox"/> 二階乗降作業が困難です		富士山 〒981-8502 氏名 住所
<input type="checkbox"/> L2	<input type="checkbox"/> 備忘録を記入してください		
<input type="checkbox"/> L3	<input type="checkbox"/> 付録資料・懇話会参加が必要		
<input type="checkbox"/> L4	<input type="checkbox"/> 障がい者のことを全部してください		
<input type="checkbox"/> L5	<input type="checkbox"/> L6		
<input type="checkbox"/> L7	<input type="checkbox"/> L8		
<input type="checkbox"/> L9	<input type="checkbox"/> L10		
<input type="checkbox"/> L11	<input type="checkbox"/> L12		
<input type="checkbox"/> L13	<input type="checkbox"/> L14		
			災害時の避難場所

問合せ ■ 福祉課 ☎内線 151

心や体に障害のある方は、災害の時にこんなことに困っています

- 今、何が起きているのか分からない。周囲の状況を把握することが難しい。
- 一人で移動することが難しい。
- 正しい情報を受け取ることが難しい。
- 外見からは障害のあることが分からない方もいるので、孤立してしまう。

対象 ■ 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者福祉手帳、特定疾患の受給者証を所持している方で、自ら支援が求められない方

配布に必要な持ち物 ■ 障害者手帳、受給者証（特定疾患の方）、印鑑

配布枚数 ■ 1人1枚

配布場所 ■ 福祉課 障害担当

問合せ ■ 福祉課 ☎内線 151



市では、災害時に障害のある方が安全で迅速に避難所へ移動をすることができるよう「防災ベスト」を配布しています。

防災ベストを身に着けている方を見掛けたら、支援をしましょう!

- 積極的に声を掛け、自分の名前を伝えましょう。
- 支援が必要か、必要な場合にはどのような支援が必要か確認しましょう。
- 一人で支援することが難しいときは、本人の同意を得て、周囲の方にも支援を呼び掛けましょう。

【目が不自由です】

- 周りがどのような状況か、できるだけ具体的に伝えましょう。
- 掲示物などが見えず情報を把握することが難しいです。言葉で伝えましょう。
- 移動に介助が必要か確認し、肘の少し上または肩に手を掛けてもらい、相手のペースに合わせて移動しましょう。

- 移動の際に、段差や坂道など道路状況が変わる時には、一言声を掛けましょう。

【耳が不自由です】

- 身振り手振りや筆談で、支援が必要か確認しましょう。
- テレビやラジオ、管内アナウンスなどが聞こえないので、不安を感じます。まめに筆談などで状況を伝えましょう。

【避難に支援が必要です】

- ゆっくりと優しく声を掛け、支援が必要か確認をしましょう。
- 車いすを使用している場合、自力で車いすを操作できる方もいます。ただ道路状況などによってサポートが必要なこともあるので、どのように介助をしたらいいか確認し、必要に応じて周囲の方に支援を求めましょう。